

東京都低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器認定委員会（令和5年度第3回）議事録

1 日時 令和5年12月11日（月曜日） 午前10時から正午まで

2 場所 WEBによるオンライン会議

3 出席者

（委員）津江委員長、上道委員、小林委員、納富委員、松村委員

（東京都）木立課長、相澤課長代理、高柳主任

4 議題

（1）低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器認定申請の状況

（2）低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器の認定審査

5 議事

○相澤課長代理 定刻になりましたので、ただいまから令和5年度第3回東京都低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器認定委員会を始めさせていただきます。

会議進行について、委員長に引き継ぐまでの間、本会議の進行をさせていただきます、大気保全課大気規制担当の相澤でございます。どうぞよろしくお願いたします。

議事に入る前に、本日の会議についてご説明をさせていただきます。

この会議は低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器認定委員会の組織及び運営に関する要領第7の規定に基づきまして、公開となります。ただし、議事（2）の低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器の認定審査については、東京都情報公開条例第7条第3号に係る案件となりますので、非公開とさせていただきます。また、同要領第8の規定に基づき、議事録を作成し、東京都情報公開条例第7条各号に掲げる非開示情報に該当する部分を除き、原則として公開しますので、お含みおきください。

開会に当たりまして、大気保全課長の木立より一言ご挨拶させていただきたいと思ひます。

○木立課長 本日はお忙しい中、東京都低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器認定委員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。大気保全課長の木立でございます。会議の

開会に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

東京都におきましては、脱炭素社会の実現に向けまして、「H T T」、電力をへらすのH、つくるのT、ためるのT、これでH T Tと呼んでおりますが、こちらに集中的に取り組む期間としまして、12月1日から来年の3月31日までを「冬のH T T推進期間」として設定のほうをしております。こうした取組を通じまして、気候危機への対応だけでなく、中長期的にエネルギーの安定確保につなげる観点から、節電への取組を強化、加速しているところでございます。本制度で認定された機器の普及を推進することで、エネルギーを減らす取組にも寄与するものと期待しております。

本日の認定委員会では、蒸気ボイラー1型式、温水発生機2型式、冷温水発生機1型式、ガスヒートポンプ1型式の計5型式の認定審査を予定しております。ウェブによる開催としておりますので、ご不便をおかけする点もあるかと存じますが、円滑な議事進行にご協力いただければと思います。

委員の皆様には、限られた時間ではございますが、忌憚のない意見、ご議論をいただきますようお願いしまして、私の挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしく願いいたします。

○相澤課長代理 続きまして、ウェブ会議の注意事項、こちら3点申し上げます。

1つ目ですけれども、資料は、情報セキュリティー対策のため、画面には映写できません。別途郵送しておりますので、そちらのほうをご確認いただければと思います。

2つ目ですけれども、会議中は音声をミュートにいただき、ご発言の際はミュートを解除してご発言いただきますようによろしく願いいたします。

3つ目といたしまして、会議中に音声が聞こえづらいなど不具合がございましたら、随時事務局のほうまでお知らせいただければと思います。

説明は以上となります。

それでは、これ以降の進行は津江委員長にお願いをしたいと思います。

委員長、よろしく願いいたします。

○津江委員長 皆さん、おはようございます。

お忙しい中、集まりいただきましてありがとうございます。

それでは、早速議事に入らせていただきます。

まず、議事（1）の低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器の認定申請の状況について、事務局のほうから説明をお願いいたします。

○相澤課長代理 事務局から資料1をご説明させていただきます。

お手元のほうに資料があると思いますので、お手元のほうの資料をご覧になっていただきながらお聞きいただければと思います。

資料1の1ページ目、こちらが概要というふうになっております。本日の申請につきましては、小型ボイラー類はいずれも都市ガスを燃料としておりまして、蒸気ボイラーが1型式、温水発生機が2型式、冷温水発生機が1型式、内燃機関類としてガスヒートポンプが1型式となっております。

今回は、小型ボイラー類、内燃機関類合わせて計4社から5型式の申請ということで、審査のほうをよろしくお願ひしたいと思ひます。

続いて、次のページにいきまして、2ページ目から低NO_x対策及び効率対策をまとめた資料というふうになっております。

2ページ目、こちら低NO_x対策に係るところをご覧いただければと思ひます。

蒸気ボイラー1型式に関しては濃淡燃焼と自己再循環、温水発生機2型式につきましては火炎分割と希薄燃焼、排ガス再循環、冷温水発生機1型式につきましては自己再循環と火炎分割、ガスヒートポンプ1型式につきましては希薄燃焼によりそれぞれ低NO_x化を図るといふふうになっております。

続きまして、3ページ目ですね。こちらCO₂の低減、効率向上対策といふふうになっております。

蒸気ボイラーは伝熱量の増加とエコノマイザー、温水発生機は伝熱効率の向上と伝熱量の増加、冷温水発生機は伝熱効率の向上と冷凍サイクルの最適化により効率化を図っております。また、ガスヒートポンプにつきましては、エンジン効率の改善により効率化を図っているといふふうになっております。

資料1の説明のほうは以上となります。

詳細につきましては、この後、申請者を交えまして、申請説明資料のほうでご説明をさせていただきますと思ひます。よろしくお願ひいたします。

○津江委員長 どうもありがとうございました。

委員の皆さん、先生方から何かご質問、コメントございますでしょうか。よろしいですか。それでは、どうもありがとうございました。

次の議題に入らせていただきたいと思ひますが、議事(2)低NO_x・低CO₂小規模燃焼機器の認定審査については非公開にさせていただきますと思ひます。

(認定審査のため、非公開)

○津江委員長 それでは、本日の議事は以上となりますので、事務局のほうに議事進行をお返しいたします。

○相澤課長代理 ありがとうございます。

続いて、高柳のほうから、事務局からの連絡事項をご説明させていただきたいと思います。

○高柳主任 高柳です。本日はありがとうございました。

事務的なご連絡になります。先日お送りいたしました口座振替依頼書、それから電子データの入ったDVDと資料一式ですね、そちらを同封したレターパックによりまして、また事務局宛てご返送のほどお願いいたします。

連絡事項は以上です。

○相澤課長代理 ありがとうございます。

それでは、次回以降の認定委員会について、まだあと1回、年明けに予定をしておりますけれども、日程調整等、別途ご連絡をさせていただきたいと思います。

それでは、これをもちまして令和5年度第3回の認定委員会を終了させていただきます。

本日は長時間にわたりましてご議論いただきまして、誠にありがとうございました。